

Bluemix Hands-On Watson Visual Recognition

Kifumi Numata University Relations, IBM Japan



Watson Visual Recognition APIをBluemixのNode-REDから呼び出そう!

概要

- IBM Watsonのサービスの一つであるVisual Recognition APIを呼びだす 簡単なサンプルです。
- Node-REDを使って簡単に呼び出しているのが特徴です。IBM Bluemixを使えば簡単に、迅速にアプリケーションを作ることが可能です。

ノード解説 Visual recognition node

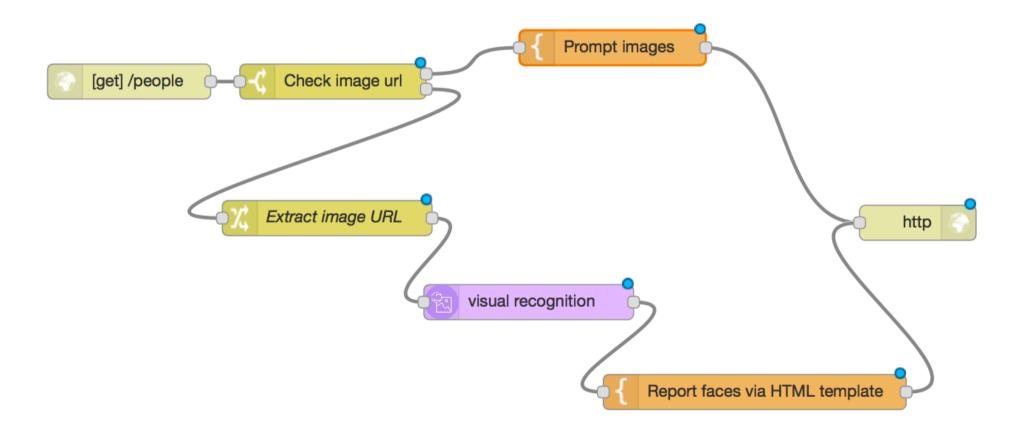


IBMがBluemixは様々なコグニティブAPIを提供しています。 その中でも画像認識サービスである、Visual Recognition は画像解析から 年齢や人物判定まで行う機能を持ったサービスです。 IBM Watsonのカテゴリに入っているので確認してみてください。



全体フロー概要

■ 画像のURL(例: "<a href="http://xxxxxx.jpg")をVisual Recognition のAPIにかけると画像解析を行い、顔認識の結果を返してくれるサンプルアプリです。





1. BluemixでNode-REDサービスを設定する

■ Bluemix Hands-On の <u>2_Node-REDでHello World.pdf</u>を参考にして、Node-RED環境を立ち上げて下さい。



■ Node-REDのノードに画像認識のための Visual Recognition があるのですが、 このままでは使えません。 BluemixにVisual Recognitionサービスを追加します 。

■ Bluemixのメニュー画面右上の「カタログ」をクリックします。





■ 左側の「Watson」をクリックし、「Visual Recognition」を選択します。



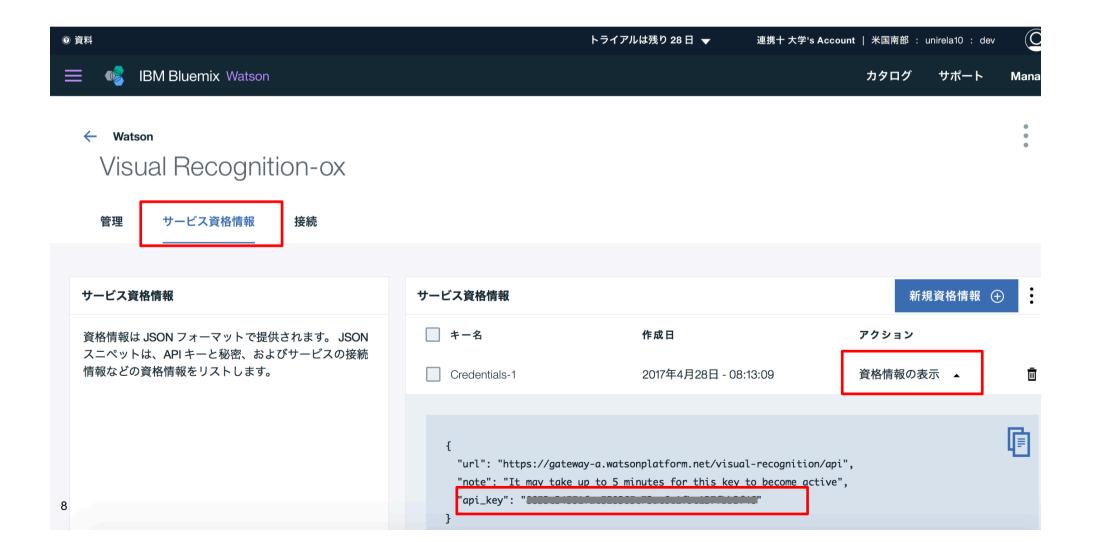


■ 左側の「接続」はアンバインドのまま、「作成」をクリックします。

資料の表示	画像トレーニング	• 類似イメージ検索 (ベータ)	
アンバインドのまま	イメージを説明するクラス・キーワードを生成します。 独 自のイメージを使用するか、一般に公開されている Web ベージから関連するイメージの URL を解析用に抽出しま す。	イメージ内の人物の顔を検出します。 また、このサービスでは、顔の一般的な年齢層と性別も示されます。	
妾続 :	• 一般種別	◆ 顔検出	
Dスマート・アプリケーションを作成します。	フィーチャー		
面、対象物、顔のイメージ、およびその他のコンテンツを分析します。既製のデフォルト・モデルを選択するか、独自のカスタム種別を作成します。 コレクションに含まれる類似のイメージを検出します。 イメージやビデオ・フレームの画像コンテンツを解析し、何が起こっている場面なのかを理解するため	Credentials-1		
	資 & 情 超 2 ·		
	Visual Recognition-r0		
画像コンテンツに含まれる意味を検出します。 場			



■ 「サービス資格情報」をクリックし、「資格情報の表示」をクリックすると、「api_key」が表示されます。後ほど、この情報を用いて、Node-REDからVisual Recognition APIサービスを使用しますので、このタブを開いたままにしておいて下さい。





3. Node-REDでプログラミング

■ Node-REDの画面が開いていない人は、左上の「IBM Bluemix」を右クリックして、新しいタブでリンクを開きます。



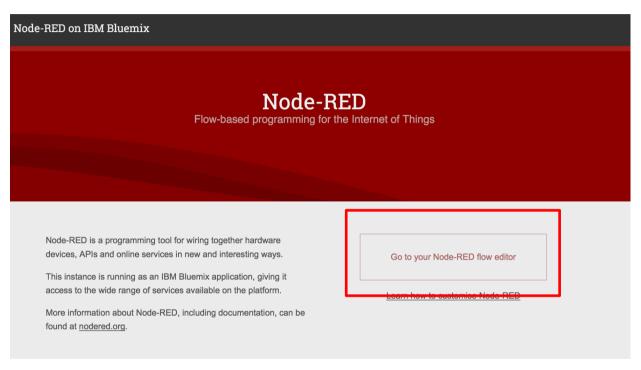
■ すべてのアプリの中から、アプリの名前の横にあるURLリンクをクリックします。





3. Node-REDでプログラミング

「Go to your Node-RED flow editor 」をクリックして、Node-REDを起動します。



■ Node-REDエディターが立ち上がったら、上側右寄りの「+」をクリックして、新しいフロー 画面「Flow 2」または「Flow3」を立ち上げます。



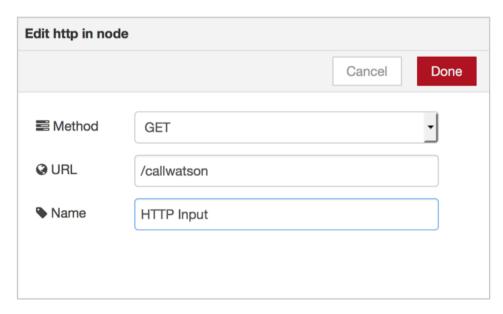


3-1. HTTP Input node

- Visual Recognition API は REST の GET メソッドでアクセスして画像を解析します。
- 左側のパレットの Input カテゴリ内の http の node をドラッグ&ドロップし、キャンバス内に配置します。



- プロパティー内のURL欄にアクセスポイントを記載します。 ここでは/callwatson とでもしておきます。
- Name の欄はノードの名前をわかりやすい ようにしておくために記述しておきます。 任意ですが、ここでは HTTP Input にして おきます。





3-2. switch node

- 画像のURLをチェックするノードを準備します。
- 左側のリソースパレットの function カテゴリ内の switch ノードをフローエディタ中央のキャンバス にドラッグ&ドロップします。



- プロパティー内の左下にある「+add」または「+ 追加」をクリックして、分岐ロジックを2つ用意し ます。
- Propertyは、右図の通りに imagurl属性に 含まれるペイロードのnullチェックを行います。
- nullであれば、"1"にそれ以外であれば"2"に値が 渡されます。

Edit switch node			
		Cancel	Done
Name Property	Check image url		
≡ is n	ull 🔻	→ 1	ж
other	wise	→ 2	×



3-3. template node (初期画面)

- 画面のHTMLを表示したり、Inputとなる画像を送信するためのメニューを提供するために HTMLを記述します。
- templateノードをフローエディタ中央の キャンバスにドラッグ&ドロップします。



プロパティを以下のように記述します。

```
<h1>Welcome to a Watson Visual Recognition sample Face Detection app</h1>
```

<H2>Recognize anyone?</H2>

<form action="{{req._parsedUrl.pathname}}">

Right-click one of the above images and select Copy image location and paste the URL in the box below.
br>Do an image search for faces, try multiple faces. After you click on an image, to the right it usually says "View image" click that to get the URL.
br/>

Image URL: <inputtype="text" name="imageurl"/>

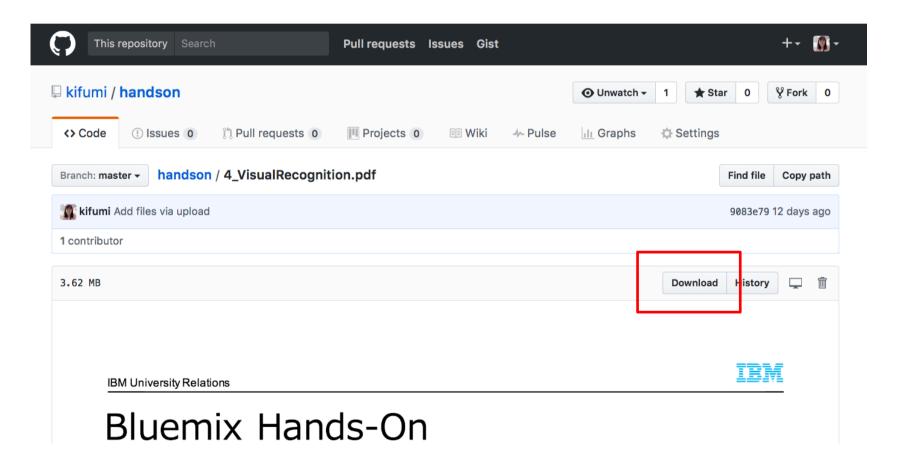
<input type="submit" value="Analyze"/>

</form>



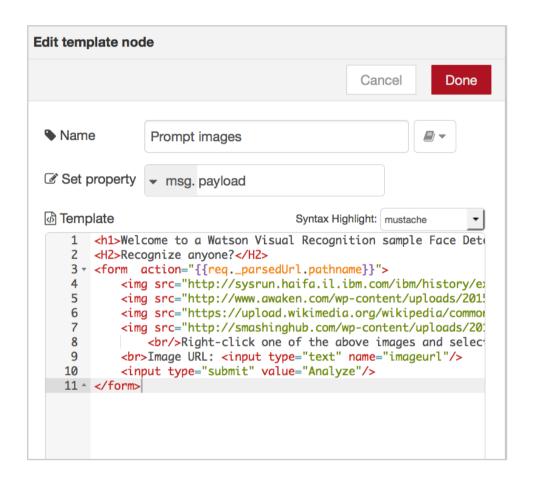
3-3. template node (初期画面)

■ PDF fileをダウンロードしていない人は、Githubの画面を一番上までスクロールし、「Download」をクリックして、「4_VisualRecognition.pdf」ファイルをダウンロードし、前ページのスクリプトをコピペしてください。





3-3. template node (初期画面)



■ ここまでできました。



15 ⊌ ∠∪ ₁ 7 IBM Corporation

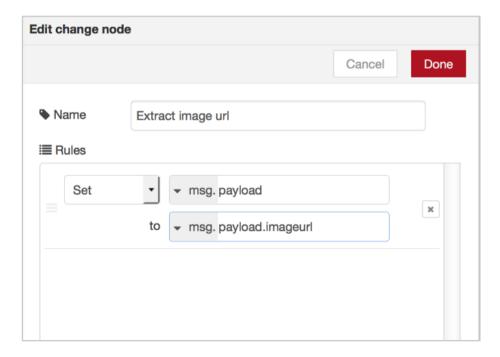


3-4. change node

- 入力画面から画像URLを抽出するchangeノードを定義します。
- 左側のリソースパレットの function カテゴリ内の change ノードをフロー・エディタ中央の キャンバスにドラッグ&ドロップします。



■ ここからpayload属性をimageurl属性に変換します。 以下の通りにプロパティを設定します。



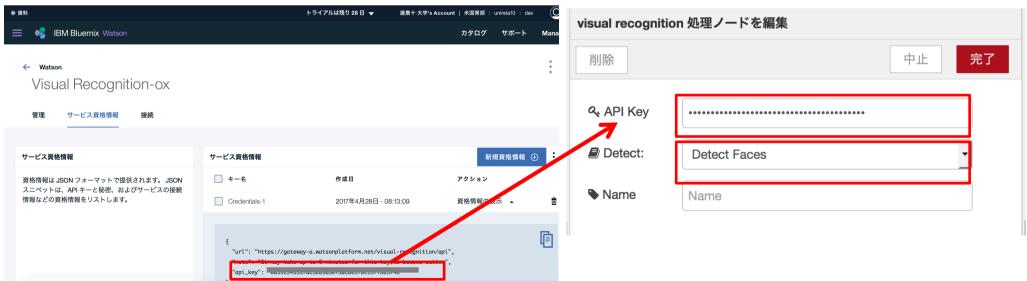


3-5. Image Analysis

■ 画像解析のための visual recognition ノードを定義します。



- 左側のリソースパレットの IBM_Watson カテゴリ内の visual recognitionノードをフロー・エディタ中央の キャンバスにドラッグ&ドロップします。
- API Keyの部分に、Bluemixに追加したVisual Recognitionサービスの「サービス資格情報」の「api_key」情報を持ってきて追加します。
- プロパティーでは顔認識を行うため、DetectをDetect Facesに設定します。





3-6. template node (結果)

- WatsonのImage Analysisから返ってきた結果を表示させるためのHTMLを記載します。
- temlplateノードをフローエディタ中央のキャンバスに ドラッグ&ドロップします。

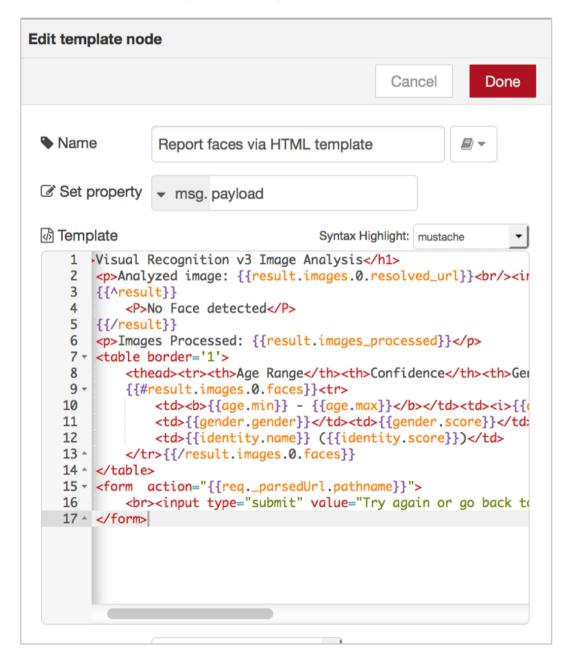


プロパティを以下のように記述します。

```
<h1>Visual Recognition v3 Image Analysis</h1>
    Analyzed image: {{result.images.0.resolved_url}}<br/>><img id="image"</p>
    src="{{result.images.0.resolved url}}" height="200"/>
    {{^result}}
        <P>No Face detected</P>
    {{/result}}
    Images Processed: {{result.images processed}}
    <thead>Age
        RangeConfidence
        ad>
        {{#result.images.0.faces}}
        <b>{{age.min}} - {{age.max}}</b><i>{{age.score}}</i>
        {{qender.gender}}
        {{qender.score}}
                                  {{identity.name}} ({{identity.score}})
        {{/result.images.0.faces}}
    <form action="{{req. parsedUrl.pathname}}">
        <br><input type="submit" value="Try again or go back to the home page"/>
    </form>
```



3-6. template node (結果)



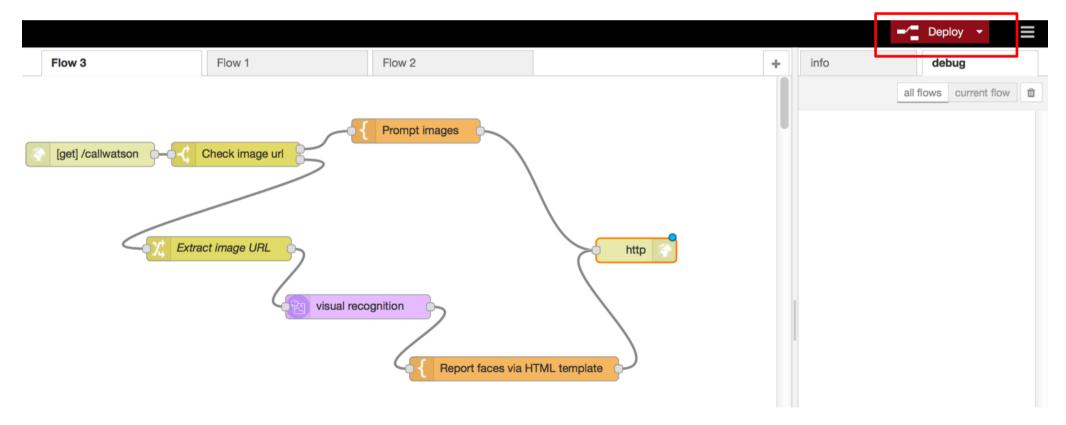


3-7. フローをつなげる

■ 最後に http responseノードをフローエディタ中央 のキャンバスにドラッグ&ドロップします。



■ 出来上がった各ノードをつなげて、右上のDeployをクリックすれば完成です! エラーが出ていないことを確認してください。





4. 動作確認

- ブラウザのURL欄に http://xxxx.mybluemix.net/callwatson をインプットして呼び出してみましょう。
- Image URLの入力欄にWatsonに読ませたい画像URLを入れてみてください。

Welcome to a Watson Visual Recognition sample Face Detection app

Recognize anyone?









Right-click one of the above images and select Copy image location and paste the URL in the box below.

Do an image search for faces, try multiple faces. After you click on an image, to the right it usually says "View image" click that to get the URL.

Image URL:	Analyze



参考. Visual Recognition 学習機能のデモ

https://visual-recognition-demo.mybluemix.net/train

Try Train

Train a demo classifier

To create a temporary trial classifier, select at least 3 classes from the example image bundles.

Example Image Bundles



Images used in this demo are licensed under Creative Commons 2.0 General License and are attributed here.